

# 令和3年11月期（令和2年11月15日～令和3年11月14日）決算短信

令和3年12月21日  
上場取引所 東証

ファンド名 国際のETF VIX短期先物指数  
コード番号 1552  
連動対象指標 円換算したS&P500 VIX短期先物指数  
主要投資資産 国債証券  
売買単位 1口  
管理会社 三菱UFJ国際投信株式会社 URL <https://www.am.mufg.jp/>  
代表者名 取締役社長 横川 直  
問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部 笠間 悦男 TEL (03)6250-4910

有価証券報告書提出予定日 令和4年2月10日  
分配金支払開始予定日 —

## I ファンドの運用状況

### 1. 令和3年11月期の運用状況（令和2年11月15日～令和3年11月14日）

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和3年11月期	19,418	(58.4)	13,860	(41.6)	33,278	(100.0)
令和2年11月期	12,068	(62.9)	7,122	(37.1)	19,191	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
令和3年11月期	2,809	15,730	1,388	17,151
令和2年11月期	5,752	3,148	6,090	2,809

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	円
令和3年11月期	33,696	417	33,278	1,940
令和2年11月期	21,611	2,419	19,191	6,830

(4) 分配金

	1口当たり分配金
	円
令和3年11月期	0
令和2年11月期	0

### 2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
② ①以外の変更 無

## II 財務諸表等

## (1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第10期 [ 令和2年11月14日現在 ]	第11期 [ 令和3年11月14日現在 ]
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	2,876,876,590	8,358,152,512
コール・ローン	236,446,976	100,705,226
国債証券	12,068,840,220	19,418,066,143
派生商品評価勘定	108,848,383	253,895,307
差入委託証拠金	6,320,188,475	5,565,287,268
流動資産合計	21,611,200,644	33,696,106,456
資産合計	21,611,200,644	33,696,106,456
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	2,382,690,307	356,973,109
未払受託者報酬	5,114,994	8,320,240
未払委託者報酬	31,712,937	51,585,400
未払利息	842	537
その他未払費用	409,141	665,549
流動負債合計	2,419,928,221	417,544,835
負債合計	2,419,928,221	417,544,835
純資産の部		
元本等		
元本	7,357,447,396,800	44,908,437,621,600
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	△7,338,256,124,377	△44,875,159,059,979
(分配準備積立金)	△15,696,072	△110,854,178
元本等合計	19,191,272,423	33,278,561,621
純資産合計	19,191,272,423	33,278,561,621
負債純資産合計	21,611,200,644	33,696,106,456

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第10期		第11期	
	自 令和1年11月15日 至 令和2年11月14日		自 令和2年11月15日 至 令和3年11月14日	
<b>営業収益</b>				
受取利息	185,511,244		12,886,833	
有価証券売買等損益	50,838,825		△1,701,703	
派生商品取引等損益	14,187,225,860		△37,901,611,928	
為替差損益	△745,328,665		4,233,877,432	
その他収益	3,527,350		5,323,288	
<b>営業収益合計</b>	<b>13,681,774,614</b>		<b>△33,651,226,078</b>	
<b>営業費用</b>				
支払利息	601,069		227,681	
受託者報酬	12,791,750		15,424,178	
委託者報酬	79,308,757		95,629,729	
その他費用	1,572,266		2,086,639	
<b>営業費用合計</b>	<b>94,273,842</b>		<b>113,368,227</b>	
営業利益又は営業損失(△)	13,587,500,772		△33,764,594,305	
経常利益又は経常損失(△)	13,587,500,772		△33,764,594,305	
当期純利益又は当期純損失(△)	13,587,500,772		△33,764,594,305	
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)	-		-	
期首剰余金又は期首欠損金(△)	△15,026,537,647,208		△7,338,256,124,377	
剰余金増加額又は欠損金減少額	15,882,749,214,059		3,628,324,590,703	
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	15,882,749,214,059		3,628,324,590,703	
剰余金減少額又は欠損金増加額	8,208,055,192,000		41,131,462,932,000	
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	8,208,055,192,000		41,131,462,932,000	
分配金	-		-	
期末剰余金又は期末欠損金(△)	△7,338,256,124,377		△44,875,159,059,979	

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。 為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

	第10期 [令和2年11月14日現在]	第11期 [令和3年11月14日現在]
1. 期首元本額	15,063,134,138,400円	7,357,447,396,800円
期中追加設定元本額	8,242,723,200,000円	41,187,432,000,000円
期中一部解約元本額	15,948,409,941,600円	3,636,441,775,200円
2. 差入委託証拠金代用有価証券 先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下の通り差入れを行っております。 国債証券	7,347,147,263円	12,566,203,975円
3. 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	7,338,256,124,377円	44,875,159,059,979円
4. 受益権の総数	2,809,902口	17,151,099口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第10期 自 令和1年11月15日 至 令和2年11月14日			第11期 自 令和2年11月15日 至 令和3年11月14日																																																												
1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。			1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。																																																												
2. 分配金の計算過程			2. 分配金の計算過程																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>188,437,525円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>B</td> <td>△110,460,824円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>77,976,701円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>93,672,773円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=C-D</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>F</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>△15,696,072円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>H</td> <td>2,809,902口</td> </tr> <tr> <td>1口当たり分配金額</td> <td>I=F/H</td> <td>—円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	188,437,525円	分配準備積立金額	B	△110,460,824円	配当等収益合計額	C=A+B	77,976,701円	経費	D	93,672,773円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円	収益分配金金額	F	—円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△15,696,072円	当ファンドの期末残存口数	H	2,809,902口	1口当たり分配金額	I=F/H	—円			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>17,982,440円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>B</td> <td>△15,696,072円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>2,286,368円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>113,140,546円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=C-D</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>F</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>△110,854,178円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>H</td> <td>17,151,099口</td> </tr> <tr> <td>1口当たり分配金額</td> <td>I=F/H</td> <td>—円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	17,982,440円	分配準備積立金額	B	△15,696,072円	配当等収益合計額	C=A+B	2,286,368円	経費	D	113,140,546円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円	収益分配金金額	F	—円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△110,854,178円	当ファンドの期末残存口数	H	17,151,099口	1口当たり分配金額	I=F/H	—円
項目																																																															
当期配当等収益額	A	188,437,525円																																																													
分配準備積立金額	B	△110,460,824円																																																													
配当等収益合計額	C=A+B	77,976,701円																																																													
経費	D	93,672,773円																																																													
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円																																																													
収益分配金金額	F	—円																																																													
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△15,696,072円																																																													
当ファンドの期末残存口数	H	2,809,902口																																																													
1口当たり分配金額	I=F/H	—円																																																													
項目																																																															
当期配当等収益額	A	17,982,440円																																																													
分配準備積立金額	B	△15,696,072円																																																													
配当等収益合計額	C=A+B	2,286,368円																																																													
経費	D	113,140,546円																																																													
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円																																																													
収益分配金金額	F	—円																																																													
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△110,854,178円																																																													
当ファンドの期末残存口数	H	17,151,099口																																																													
1口当たり分配金額	I=F/H	—円																																																													

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

区分	第10期 自 令和1年11月15日 至 令和2年11月14日	第11期 自 令和2年11月15日 至 令和3年11月14日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク、為替リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しておりますが、ごく短期間で実際に外貨の受渡を伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。 当ファンドは、運用の効率化を図るために、外国有価証券指数等先物取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、価格変動リスク等の市場リスクおよび信用リスク等を有しております。 また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	同左

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第10期 [令和2年11月14日現在]	第11期 [令和3年11月14日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左

3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左
----------------------------	---	----

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	第10期 [令和2年11月14日現在]	第11期 [令和3年11月14日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
国債証券	1,500,181	△1,186,904
合計	1,500,181	△1,186,904

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

その他関連

第10期 [令和2年11月14日現在]

区分	種類	契約額等 (円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	外国有価証券指数等先物取引				
	買建	21,446,740,384	—	19,172,898,460	△2,273,841,924
	合計	21,446,740,384	—	19,172,898,460	△2,273,841,924

第11期 [令和3年11月14日現在]

区分	種類	契約額等 (円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	外国有価証券指数等先物取引				
	買建	33,429,666,124	—	33,326,588,322	△103,077,802
	合計	33,429,666,124	—	33,326,588,322	△103,077,802

（注）時価の算定方法

- 1 先物取引の時価については、以下のように評価しております。  
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
  - 2 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
  - 3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
- ※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第10期	第11期
--	------	------

	[令和2年11月14日現在]	[令和3年11月14日現在]
1口当たり純資産額	6,830円	1,940円

(追加情報)

第10期 自 令和1年11月15日 至 令和2年11月14日	第11期 自 令和2年11月15日 至 令和3年11月14日
—	当ファンドは、信託約款に基づき信託契約の解約を行うことを令和3年11月10日付で社内規定に基づき決裁しました。当ファンドは令和6年2月14日に償還する予定です。